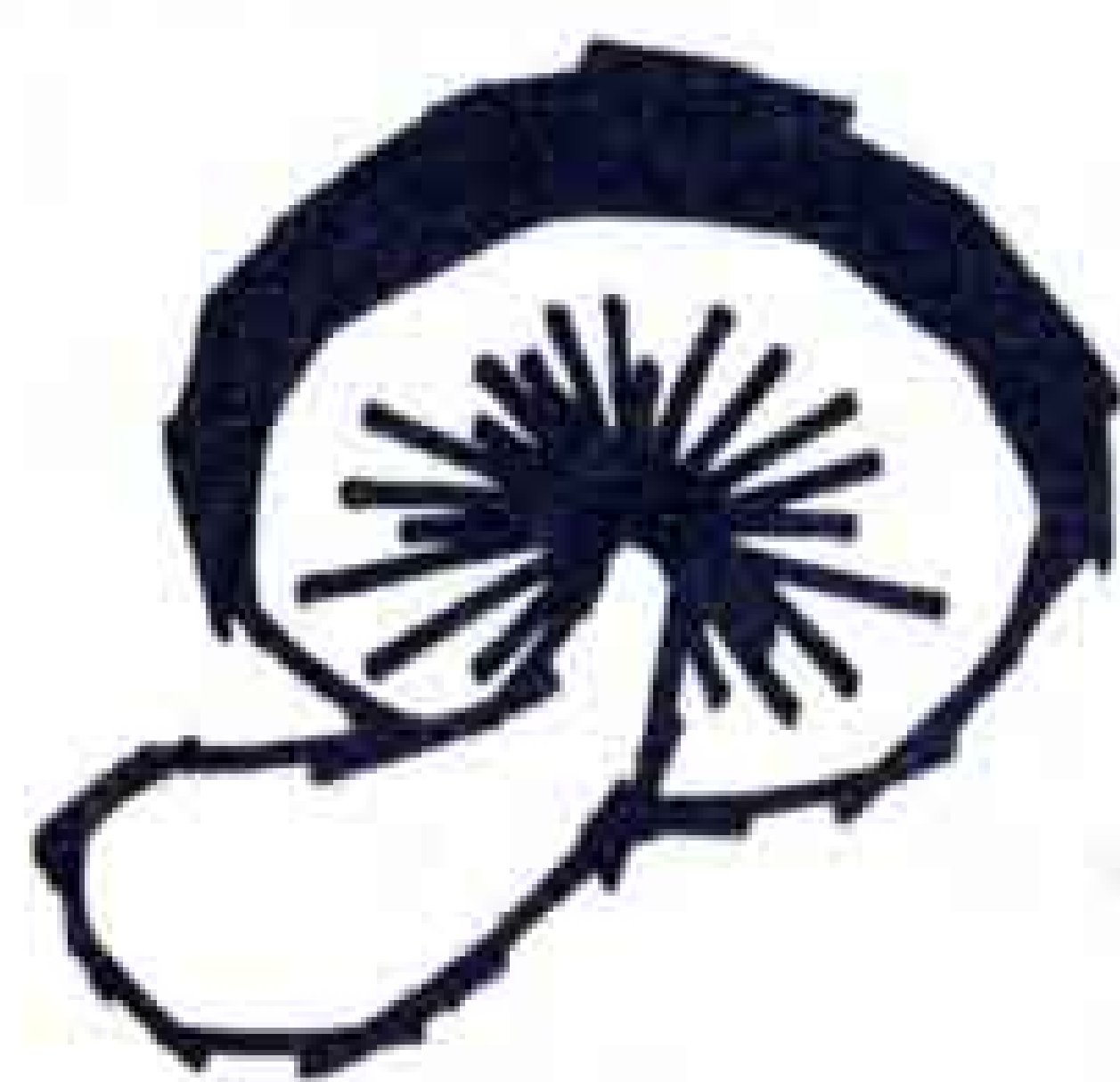
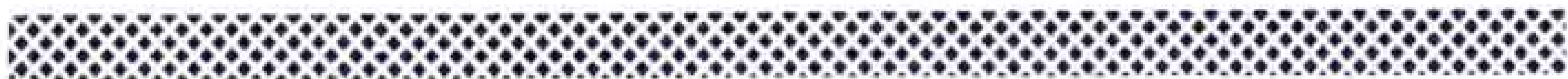


体育協会史発刊の

資料集めに市民の協力を

富士市体育協会では、発足10周年をむかえての記念事業に「富士市体育協会史」を来春2月発刊予定でスポーツに関するいろいろな資料を集めています。この協会史の内容は、

協会の歴史からはじまり富士郡南部（旧吉原、富士、鷹岡地区）の明治大正から昭和の初めごろの各部の活躍ぶりや市民たちの体育活動などを多く取り上げ、一目で富士市におけ



キノコの
中毒にご用心

秋も深まり、山の木々が色づく頃になるとキノコ狩り、栗拾いのシーズンとなります。北部に広大な富士山麓をひかえている富士市においても、さかんに行われています。

「キノコは食べたいが毒キノコがこわい！」これは当然の話ですが、行き過ぎになると、野生のキノコはすべて「毒」と信じている人もありまた一方では「茎が縦に裂けるから食べられるとか、色が地味だから食べられる」というような迷信を信じやたらキノコを食べる人も少なくありません。このような人がいるのでキノコによる中毒はあとを絶ちません静岡県におけるキノコ中毒は、過去10年間で14件（患者98名、うち死者1名）発生しており、ツキヨダケ、カラハツタケ等の毒キノコが原因となっている場合が多く、中には名前不明のものを食べている例もあります。富士市でも、昭和51年10月に12名、49年9月に7名とツキヨダケによる中毒が発生しています。

さてキノコ中毒を防止するには、次のことに注意して下さい。

●迷信を捨てること

茎が縦にさけるから、色が地味だから大丈夫だという迷信があります

が、代表的な毒キノコである、ツキヨダケ、ニガクリタケ、ベニテングタケ、ドクツルタケ、ニセクロハツアイゾメシベフタケ、コボネホウキタケ、カキシメジ、サクラベニタケ等の中で、茎が裂けないのは、ニセクロハツのみ、色が毒々しいのは、ベニテングダケのみです。

●毒キノコから覚えましょう

毒キノコは数多くありますが、過去の中毒例から見て、ツキヨダケ、イッポンシメジ、クサウラベニタケカキシメジ、マツシメジ等による中毒が多いようです。これらの見分け方を十分調べて知っておくことが必要です。触っただけで中毒を起すようなものはありませんので、採集の際に、香り肉の色、乳の変化等を十分調べる習慣をつけることが必要です。キノコ狩りの際には十分に気をつけて事故のないようご用心願います。

「検察審査会」のしごと

皆さん、検察審査会をご存じですか。交通事故、詐欺、おどしなどで犯罪の被害を受け、告訴したが、検察官が裁判をかけてくれない、どうも納得できない。こんな不満をお持ちの方はいませんか。こんな不満のある人のために検察審査会があります。そういう方は気軽に沼津検察審査会にご相談ください。（電話0559-31-6000番へ）

るスポーツの流れがわかるようなものをつくろうというものです。

そこで体育関係の写真、プログラム、賞状、記念品などスポーツに関する古い貴重な資料をお持ちの方はぜひ11月中旬までに市教育委員会体育保健課（電話51-0123 内線449）までご一報ください。

「私が見た富士市」⑦

横割2丁目

佐野寿美子



富士に住めば東京へ乗りかえなしで行けるからと、富士市(町)に住む事にしま

した。その翌年町から市と改まりました。

その頃の八幡さま近辺には、家もまばらで夜などちょっと怖かったものです。側溝も田圃への水路で道の両端に草がおいしげり、足をすべらせた事もありました。田植の季節には枕元まで蛙がピョンピョンと何匹もとんできたものです。

東京に近いからと住んだものの、駅北へは踏切りを越えねばなりません。汽車の時間はないし、踏切りは開かずイライラと折角の化粧も汗に流れたものでした。

現在は駅南口もでき、時間通り乗車できるようになり、側溝もできました。井戸も床の下に昔の面影をしのばせているだけです。

駅前には新しいビルが立ち並び、大型商店の進出と、とても便利になりました。交通公害、産業の副産物を頂戴しない訳ではありませんが、それも進歩の一つだと思っております。